

2010世界卓球選手権モスクワ大会(団体戦)

男子日本代表選手選考基準

(大会期間:2010年5月23日～30日 於. ロシア・モスクワ)

1. 団体代表選手5名

- (1)平成21年度全日本卓球選手権大会シングルス優勝者:(1名)
- (2)2009年1月1日から2009年12月20日までの国際大会(世界選手権・アジア選手権・東アジア競技大会・アジアカップ・チームカップ・プロツアーファイナル・プロツアー・ユニバーシアード等)において、世界ランキング30位以内(日本選手除く)の選手に3名以上勝利した選手の中から最大3名まで強化本部にて選出:(最大3名)
- (3)国内選考会の優勝者:(1名)
- (4)上記(1)～(3)において該当者が5名に満たない場合および選手が重複した場合は、次の2点を勘案し強化本部にて選出する。
 - イ. 国際競争力の実績と評価
 - ロ. 国際競争力向上への高い潜在性があると思われる選手

2. 国内選考会

- (1)開催時期
 - ・平成21年12月22日～24日(味の素ナショナルトレーニングセンター)
- (2)出場資格(以下の1)、4)、12)以外の大会は、すべてシングルス種目)
 - 1)平成21年度NT選手およびNT候補選手
 - 2)平成20年度全日本卓球選手権大会ベスト8の選手
 - 3)平成20年度会長杯第14回ジャパントップ12 2位以内の選手
 - 4)平成21年度国民体育大会成年男子の部優勝チームの出場選手3名
 - 5)平成21年度全日本社会人卓球選手権大会2位以内の選手
 - 6)平成21年度全日本学生卓球選手権大会2位以内の選手
 - 7)平成21年度全日本学生選抜卓球選手権大会2位以内の選手
 - 8)平成21年度全国高校総合体育大会2位以内の選手
 - 9)平成20年度全日本卓球選手権大会ジュニアの部2位以内の選手
 - 10)平成21年度全国中学校総合体育大会優勝者
 - 11)平成21年度全日本卓球選手権大会カデット(13・14才)の部各優勝者
 - 12)監督推薦若干名

3. 補足基準

代表決定者が故障等で参加が不能となった場合、その代替選手は強化本部で決定する。

*なお、他国の協会から日本卓球協会へ登録を移籍した選手は、国際卓球連盟の定める世界選手権出場資格要件を満たしていることが、選考の前提条件となる。

以上